

「人と住まい暮らしの情報」

『かわら版』

第176月
＜発行＞
㈱トリアベ住建
046-267-8270



「冬はダニが増える」「はまはダニが多い」…冬場でもダニが出る家の特徴と対策は

ダニは、温度や湿度が上がる夏に増えやすいのですが、最近の過ごしやすいうち住宅環境下では、冬でもダニが増えやすくなることがあります。

冬でもダニが増えやすい住宅の特徴とその対策をご紹介します。

特徴1：常に暖房が行き届いている

「高気密高断熱の住まいは要注意」

ダニの繁殖に最も良い環境は気温25～30度、湿度60～80%です。この温湿度でないと繁殖しないというわけではなく、多少低くても増えます。

昔の日本の住宅では、冬に快適な温湿度を保つことは難しかったことから、ダニは冬にはいないといわれていました。最近、高気密高断熱の住宅が多いことから、暖房も効きやすく、冬でも寒くない快適な空間で生活できるようになりました。またコロナ禍の在宅ワークで、以前なら日中は人がいないため寒くてダニが活動できなかったのに、今は毎日暖房をかけて過剰しているのではないのでしょうか。私たちが快適ということとは、ダニにとっても快適なのです。

特徴2：湿度が多く。結露している

「湿度70以上は要注意」

乾燥するとウィルスが活発になること、また、喉などの対策のために最適な湿度は、50～60%といわれています。健康のためには湿度は高い方がいいと思っ、加湿しすぎたり、部屋の中に結露ができるよう、ダニにとっては

繁殖環境が整ってしまいます。

来夏の夏期、ダニの発生で悩むのは、冬期の室内湿度が70%以上になるときが多いといわれています。

特徴3：シーツをあまり洗わない

「フケやアカに要注意」

ダニは餌がないと活動できません。餌は布団や枕、カーペットやソファに落ちていた私たちがフケやアカです。冬はあまり汗をかかないので、シーツを洗う機会が減っていませんか？目に見えないうちにフケやアカは蓄積されています。

◆対策：こまめな換気や洗濯・掃除を

ダニの繁殖を抑えるためには、湿度は50～60%を目安にすること、また結露対策をすることが重要です。ダニは乾燥に耐えられないので、湿度が低くなると体が干からびて弱っていきま。外の乾燥した空気を入れて、ダニを退治しましょう。その際、押入れやクローゼットの扉を開けておくと更によいでしょう。また、結露対策にも換気は効果があります。寒いかもしれませんが、毎日1回は、家の中に風を通すことがダニ退治になります。また、ダニの餌を減らすことも大事です。こまめな洗濯や掃除を心掛けましょう。



夏場に増えるダニ、掃除機では吸い込めない？正しい駆除対策と増やさない方法は？

◆寒い場所で繁殖するダニもいます

秋冬に活動する「イエニクダニ」という種類のダニは、温度15度、湿度70%で活動的になります。カビを好んで食べるので、結露によって床や壁面にカビが生えた周辺が快適な環境となります。小さな白い虫が大量にうごめいていると発見されることが多く、気持ち悪く感じます。

◆大掃除でダニを退治

年末の大掃除を利用して、普段はできない場所のダニ対策をしましょう。

家具の裏やキッチンのシンク下、押入れなど湿度が高いと感じる場所によく風を通して、乾燥させましょう。また窓に発生している結露は、乾いた雑巾などでしっかりと水分を拭き取ります。その際、サッシの溝やパッキン部分に水滴が溜まらないように、下から上に拭いた方がいいですね。水分を拭き取った後は、市販の結露防止シートや結露防止スプレーを使って今後の対策をしておくこともお勧めです。また、結露のある窓のカーテンに湿気が含まれている場合は、洗濯して干してカラッとさせましょう（カーテンの洗濯表示は確認してください）。



本来は、毎日の生活習慣を少し変えるだけで、ダニの発生しない家になります。新しい年は、心機一転、掃除や洗濯、換気をこまめにする習慣作りをして、1年を通してダニのいない生活を送れるようにしたいものです。

【断熱リフォームの提案】 日本の家の90%が現在の省エネ基準に満たない住宅です。補助金対応で実現！ “スーパーウォールリフォーム”

現在の省エネ基準に満たない住宅が日本の家の90%を占めています。

国内のエネルギー効率や地球温暖化対策として、新築住宅の省エネ化、2014年以降は、国を挙げて取り組んでいます。一方で、現在の省エネ基準に満たない、低い断熱性能の既存住宅が全体の90%を占めており大きな課題です。それらの住宅は、省エネだけでは「冬の寒さを我慢している」という暮らしの問題も抱えています。

断熱性能の低い住宅における、暮らしのリスクとは断熱性能が低く、夏冬の室温調節にエネルギーを多く消費し、冷暖房の電気代が高くなる。また、結露による健康被害や、断熱材の劣化による健康被害のリスクがあります。

現状では断熱性能の低い既存住宅が多いため、リフォームによる断熱性能の向上が求められています。

断熱材の熱伝導率区分	熱伝導率 W/mK	断熱性能
F	0.019	最高断熱
E	0.0225以下	高断熱
D	0.028～0.033	標準断熱
C	0.034～0.039	標準断熱
B	0.046～0.041	標準断熱
A2	0.050～0.046	標準断熱
A1	0.052～0.051	標準断熱

01 リフォームで高い断熱性能を実現 気密性能にもこだわります

健康・快適な暮らしのために、トップレベルの断熱性能・気密性能を目標とし、SWリフォームバネルや天井・床・開口部断熱などのリフォームで高性能住宅を実現します。

既存の外壁はそのまま外張り断熱。天井断熱、開口部断熱、床断熱。

SWリフォームバネル (省エネ補助金対象)

熱伝導率 0.019 W/mK

断熱材区分	熱伝導率 W/mK	断熱性能
F	0.019	最高断熱
E	0.0225以下	高断熱
D	0.028～0.033	標準断熱
C	0.034～0.039	標準断熱
B	0.046～0.041	標準断熱
A2	0.050～0.046	標準断熱
A1	0.052～0.051	標準断熱

03 住まいながら可能なカバー工法リフォームと大規模なスケルトンリフォームに対応

SWリフォームは、住まいながら断熱改修が可能なカバー工法リフォームはもちろん、大規模なスケルトンリフォームにも対応可能です。

カバー工法リフォームの場合

外張り断熱ではカバー工法で、現在住んでいる住宅を解体することなく断熱改修も実現、住みながら高性能住宅へのリフォームが可能です。断熱改修した高性能住宅でも、家中の断熱材を断熱材で覆います。

スケルトンリフォームの場合

断熱材の内装、設備など、住まいの生活を一新するスケルトンリフォームにおいても、外張り断熱を施した断熱改修で、高性能住宅を実現。一年を通して、健康・快適な暮らしを支えます。

【事業名：住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等】

家庭部門の省エネを強力に推進するため、新たな住宅省エネ対策が閣議決定され、住宅の断熱性の向上に資する改修などの住宅省エネ化への支援強化が盛り込まれました。これを踏まえ、令和4年度補正予算案に**1,000億円規模の大型の補助金制度（開口部リフォーム）**が盛り込まれました。

【補助対象期間】
 ◇工事請負契約
 令和4年11月8日から令和5年12月31日まで締結
 ◇工事の実施
 事業者登録を行った後に着工し、令和5年10月31日まで実施
 詳しくは弊社までお問い合わせください。

補助対象者	
リフォーム	住宅所有者等※1がリフォーム事業者に工事を発注して実施するリフォーム工事。 ※1 住宅所有者等とは、本事業にてリフォームする住宅の所有者（法人を含む）、居住者又は管理組合・管理組合法人をいいます。
世帯を問わず対象工事を実施するリフォーム	

補助対象内容		
✓1戸当たりの上限金額 200万円 。 ✓1申請当たりの合計補助額が 5万円未満 の場合は申請できません。		
対象工事	補助率相当	
開口部の断熱改修 内窓・取替窓・外窓・ガラス	熱貫流率（Uw値） 1.9以下 等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの	リフォーム工事内容に応じて定める額 （補助率1/2相当等）

補助事業対象の例



『雪道での歩き方』

- ◆**転びにくい歩き方、5つの心得**
- ① 小さな歩幅でそろそろ歩く
 - ② 靴の裏全体を路面につけて歩く
 - ③ 地面に垂直に踏み出し、体の重心をやや前に
 - ④ 余裕をもってゆっくり歩く
 - ⑤ 歩き始めと歩く速さを変える時が要注意
- ◆**雪道で転ばないための注意点**
- 「**気を付けたい時**」
- 降雪後も気温が低い状態が続き、路面が車や人の往来で圧雪される時
 - 積雪後に気温が上昇して雪が溶け、その後気温がマイナスに低下する時

「**気を付けたい場所**」

- 横断歩道
 - 地下鉄や地下街からの出入り口付近
 - 車の出入りのある歩道
 - バスやタクシー乗降場所
 - 階段
 - ※滑りやすい場所を知っておこう！
 - ※新雪時よりも雪が解けて凍った時が危険！
 - ※滑らない、濡れない、暖かいという、雪道に適した**3つの機能**を備えた冬靴で！
- 横浜市や大和市一帯でも最近では雪が降り、積もることもしばしば。何年かに一回は大雪となることもあります。
- 歩き慣れない中、転倒して怪我をされる方もいます。
- 万が一の時のために頭の片隅にいれておいてください。



『**食べ物の違い**』

- ◆**生ビールとピールの違い**
- ◇熱殺菌したかしていないかで分類される
- ・熱殺菌していないのが生ビール
 - ・熱殺菌したのがビール
- ◆**ワラビとゼンマイの違い**
- ◇先端部分の形状で判別する
- ・先端部分がいくつかに分かれて握りこぶしの様に丸まっているのがワラビ
 - ・先端が分かれていなくて丸くなるのがゼンマイ

今月のレシピ 『**長芋となめこのわさび和え**』（2人分）



- ◆**材料** なめこ 20g、長芋 120g
 焼きのり（細切り）少々
 (A) 練りわさび 小さじ1/2
 しょうゆ 小さじ2

◆**作り方**

- ① 長芋は皮をむいて2～3センチ長さの細切りにする。なめこは1～2分茹でてざるにあげておく
- ② ボウルに(A)を入れて混ぜ合わせ、①を和える
- ③ ②を器に盛りつけ、のりをかける

◆私どもトリヤベ住建では**水まわり、外壁・塗装工事、屋根工事、網戸の張替え、庭先の改修工事、防音工事、白アリ駆除** **リフォーム全般、新築**。に関するお家のことなら何でもご相談に応じます。お気軽にお声をおかけ下さい。また、当社ホームページからでもお問い合わせができますので是非ご利用ください。



アソビエクラフ

株式会社 **トリヤベ住建**

046-267-8270 大和市福田 662-8



QRコードで読み取ってね！